

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										3.5
Q1 室内環境							0.40		-	3.4
1 音環境						3.2	0.15	3.0	1.00	3.1
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.40	3.0	0.40	
1.2 遮音						3.6	0.40	3.0	0.40	
1 開口部遮音性能						3.0	0.40	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能		[共]適切な遮音性能の確保によりDr-40				4.0	0.60	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						-	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音						3.0	0.20	3.0	0.20	
2 温熱環境						2.9	0.35	2.6	1.00	2.8
2.1 室温制御						4.0	0.50	3.4	0.50	
1 室温						3.0	0.38	3.0	0.57	
2 外皮性能		[共・宿]外皮性能において最良の日射遮蔽性能と断熱性能を有する。				4.0	0.25	4.0	0.43	
3 ゾーン別制御性		[共・宿]40㎡以下程度の空調ゾーンがされており、冷暖同時機器を採用。				5.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御						3.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式						1.0	0.30	1.0	0.30	
3 光・視環境						3.3	0.25	3.8	1.00	3.5
3.1 昼光利用						4.2	0.30	4.2	0.30	
1 昼光率		[共]昼光率 4% [宿]昼光率 3.4%				5.0	0.60	5.0	0.60	
2 方位別開口						-	-	-	-	
3 昼光利用設備						3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策						3.0	0.30	3.0	0.30	
1 昼光制御						3.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度						3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御		[宿]病床はベッド単位で制御可能。				3.0	0.25	5.0	0.25	
4 空気環境						4.2	0.25	4.3	1.00	4.2
4.1 発生源対策						4.0	0.50	4.0	0.63	
1 化学汚染物質		[共・宿]天井裏も含めてほぼ全面にF☆☆☆☆の建築材料を採用。				4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気						4.0	0.30	5.0	0.38	
1 換気量		[共・宿]換気量25㎡/h人以上を確保している。				4.0	0.50	5.0	0.33	
2 自然換気性能		開口率が居室床面積の1/10以上確保されている。				-	-	5.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		[共][宿]給気口と排気口は6m離れている。				4.0	0.50	5.0	0.33	
4.3 運用管理						5.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視						-	-	-	-	
2 喫煙の制御		[共・宿]建物全体での禁煙がなされている。				5.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	3.5
1 機能性						3.6	0.40	4.6	1.00	3.9
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性		[宿]個室床面積10㎡以上 多床室床面積8㎡以上。				-	-	5.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応						-	-	-	-	
3 バリアフリー計画						3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性						4.0	0.30	4.0	0.40	
1 広さ感・景観		[宿]天井高 2.55m				3.0	-	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース						-	-	-	-	
3 内装計画		[共・宿]建物全体の明確なコンセプトがあり、それに沿った内装計画や照明計画がある。				4.0	1.00	4.0	0.50	
1.3 維持管理						4.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		[共・宿]内装材には防汚性の高い材料を使用している。風除室の1次扉と2次扉の間は1m以上開けている。外部に露出する金属部分にはSUSまたは亜鉛メッキ等の防錆対策がなされている。				5.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保						3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性						3.0	0.30	-	-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.2	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		[共・宿]床:ビニル床シート 壁:無機質壁紙 天井:無機質壁紙				5.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		[共・宿]主要な用途上位3種の、2種以上にCを使用				4.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						3.0	0.20	-	-	
1 空調・換気設備						3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備						3.0	0.20	-	-	

	3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法	[共・宿]重要機器については耐震クラスAとしている。	4.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		2.0	0.20	-	-	
3		対応性・更新性		3.4	0.30	3.8	1.00	3.5
		3.1 空間のゆとり		4.6	0.30	4.6	0.50	
	1	階高のゆとり	[共]4.2m(3.9m以上)[宿]3.9m(3.9m以上)	5.0	0.60	5.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ	[共・宿]壁長さ比率0.1≤0.3	4.0	0.40	4.0	0.40	
		3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30	3.0	0.50	
		3.3 設備の更新性		3.0	0.40	-	-	
	1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3		室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	3.7
		1 生物環境の保全と創出		3.0	0.30	-	-	3.0
		2 まちなみ・景観への配慮	景観形成基準配慮計画シートを作成し、建物のまちなみへの配慮を行っている。	4.0	0.40	-	-	4.0
		3 地域性・アメニティへの配慮		4.0	0.30	-	-	4.0
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上	サンルームを設けて中間領域を形成している。	5.0	0.50	-	-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR		建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.0
LR1		エネルギー		-	0.40	-	-	3.1
		1 建物外皮の熱負荷抑制	BPI _m =0.8	5.0	0.20	-	-	5.0
		2 自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
		3 設備システムの高効率化		2.4	0.50	-	-	2.4
		4 効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
		集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
		集合住宅の評価		3.0	-	-	-	
	4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
	4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2		資源・マテリアル		-	0.30	-	-	2.9
		1 水資源保護		3.4	0.20	-	-	3.4
		1.1 節水	自動水栓に加えて擬音装置を採用している。	4.0	0.40	-	-	
		1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
		2 非再生性資源の使用量削減		2.7	0.60	-	-	2.7
		2.1 材料使用量の削減		3.0	0.10	-	-	
		2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
		2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
		2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20	-	-	
		2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	
		2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体+LGS+仕上げ材を採用している。	4.0	0.20	-	-	
		3 汚染物質含有材料の使用回避		3.3	0.20	-	-	3.3
		3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
		3.2 フロン・ハロンの回避		3.5	0.70	-	-	
	1	消火剤		-	-	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0.01未満かつ、GWPが低い発泡剤を用いた断熱材等を使用	4.0	0.50	-	-	
	3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3		敷地外環境		-	0.30	-	-	3.1
		1 地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率93%	3.2	0.33	-	-	3.2
		2 地域環境への配慮		3.1	0.33	-	-	3.1
		2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
		2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
		2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.5	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制	駐輪場、駐車場及び荷捌き車両の駐車施設の確保し、車寄せを設置して周辺道路への渋滞緩和対策とした。	5.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
		3 周辺環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
		3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1	騒音		3.0	1.00	-	-	
	2	振動		-	-	-	-	
	3	悪臭		-	-	-	-	
		3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
	3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
		3.3 光害の抑制		3.0	0.20	-	-	

		1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.0	0.70	→	-	
		2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30	→	-	